



2019年11月29日

日本プロフェッショナル野球組織  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパー J S A T 株式会社

---

## 2019 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 高山俊選手(阪神タイガース)と鈴木大地選手(千葉ロッテマリーンズ)に決定！

---

セントラル、パシフィック両リーグが第三者公式表彰として制定しておりますスカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞(協賛:スカパーJSAT株式会社、以下「本賞」)の今年度の受賞選手が、セ・リーグは 阪神タイガースの高山俊選手、パ・リーグは 千葉ロッテマリーンズの鈴木大地選手に決定いたしました。

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打などを放った選手(セ・パ両リーグの各1選手)に贈られる賞です。「最後の一球まで何が起こるか分からない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみなさまの胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー！の想いと連動した賞であり、今シーズン記録されたセ・リーグ42試合、パ・リーグ35試合のサヨナラゲームの中から、「最も劇的な一打」を選出しています。受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。

## 「2019 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」受賞選手

### セントラル・リーグ

たかやま しゅん

#### 高山 俊 選手（阪神タイガース）

##### ～プロ野球史上17本目、代打サヨナラ満塁本塁打～

高山選手は、5月29日（水）阪神甲子園球場で行われた対読売ジャイアンツ9回戦、4対4で迎えた延長12回裏最終回の攻撃、1死満塁の一打サヨナラのチャンスに代打で登場。読売8番手の池田投手から、右翼席へ劇的な代打サヨナラ満塁本塁打を放った。

この試合、阪神は3点のビハインドで迎えた5回裏、上本選手の右中間二塁打で2点を返し1点差に迫るも、8回表にソロ本塁打により再び2点差に広げられ終始追う展開が続いた。しかし、8回裏の攻撃でマルテ選手が2点本塁打を放ち土壇場で延長戦に持ち込む粘り強さを発揮。延長戦は両チームの投手陣が踏ん張り、最後の1点がなかなか奪えない状況が続いたが、延長12回裏、1死満塁と願っても無いチャンスを作り、最後は矢野監督から全てを託された代打高山選手の一振りで4時間30分の死闘に終止符を打った。高山選手のサヨナラ打は2016年5月21日対広島8回戦以来自身2度目で、サヨナラ本塁打は初。代打サヨナラ満塁本塁打はプロ野球史上17本目となった。

### パシフィック・リーグ

すずき だいち

#### 鈴木 大地 選手（千葉ロッテマリーンズ）

##### ～プロ野球史上9度目、9回裏5点差以上を逆転～

鈴木選手は6月16日（日）ZOZOマリンスタジアムで行われた対中日ドラゴンズ2回戦、2対7で迎えた9回裏、4点を返し1点差に詰め寄った2死満塁の場面で、右前へ逆転のサヨナラ安打を放ち、8対7という劇的なサヨナラ勝利を収めた。

この試合、千葉ロッテは7回表までに0対5とリードを許す苦しい展開だったが、7回裏に鈴木選手のソロ本塁打で反撃開始。再び5点差の2対7で迎えた9回裏の先頭打者も鈴木選手だった。ここで放った自身プロ入り2度目となる2打席連続の本塁打が歴史的逆転勝利の始まりとなった。その後、千葉ロッテ打線は打者一巡の猛攻で、1点差とし迎えた2死満塁で打席には再び鈴木選手。球場の盛り上がりも最高潮の中で、フルカウントからの6球目、バットを真っ二つに折りながら振り抜いた打球は1、2塁間を抜け右前へ逆転のサヨナラ安打となった。9回裏に5点差以上を逆転してのサヨナラ勝利はプロ野球史上9度目。今季鈴木選手はサヨナラ打を3度記録。個人シーズン3度のサヨナラ打は55年ぶり3人目の球団タイ記録となった。

## 【2019 セントラル・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全42試合】

### ☆セ・リーグ 本塁打によるサヨナラ 12試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数
1	4月6日	青木	東京ヤクルト	中日	4x-3	左越本①	12回	3-3	2死無走者	①
2	5月5日	福留	阪神	横浜DeNA	7x-5	右越本②	9回	5-5	2死1塁	①
3	5月15日	鈴木	広島東洋	東京ヤクルト	9x-7	中越本②	10回	7-7	1死1塁	①
4	5月29日	高山	阪神	巨人	8x-4	右越本④	12回	4-4	1死満塁	①
5	7月23日	安部	広島東洋	中日	6x-5	左越本①	10回	5-5	無死無走者	①
6	7月30日	ソラーテ	阪神	中日	7x-6	左越本②	9回	5-6	無死1塁	①
7	8月10日	大山	阪神	広島東洋	6x-5	右越本③	9回	3-5	無死1・2塁	②
8	8月12日	村上	東京ヤクルト	横浜DeNA	5x-4	中越本②	9回	3-4	無死1塁	①
9	8月24日	石川	巨人	横浜DeNA	8x-6	中越本②	11回	6-6	無死2塁	①
10	9月4日	山田哲	東京ヤクルト	広島東洋	11x-7	左越本④	9回	7-7	2死満塁	②
11	9月4日	筒香	横浜DeNA	阪神	7x-5	右越本②	10回	5-5	1死1塁	①
12	9月19日	ソト	横浜DeNA	広島東洋	11x-8	左中本③	11回	8-8	無死1・2塁	①

## 【2019 セントラル・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全42試合】

☆セ・リーグ 本塁打以外のサヨナラ 30試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数
1	3月29日	-	阪神	東京ヤクルト	2x-1	暴投	11回	1-1	1死3塁	-
2	3月31日	佐野	横浜DeNA	中日	3x-2	左前安①	9回	2-2	1死1・3塁	①
3	4月3日	山田哲	東京ヤクルト	横浜DeNA	5x-4	四球①	9回	4-4	1死満塁	①
4	4月19日	會澤	広島東洋	横浜DeNA	2x-1	中越安①	10回	1-1	1死満塁	①
5	4月23日	小窪	広島東洋	中日	3x-2	右前安①	9回	2-2	2死満塁	①
6	5月3日	大山	阪神	横浜DeNA	2x-1	中越2①	10回	1-1	2死1塁	①
7	5月4日	バティスタ	広島東洋	巨人	3x-2	左越安①	10回	2-2	2死2塁	①
8	5月23日	糸原	阪神	東京ヤクルト	1x-0	右越安①	9回	0-0	1死満塁	①
9	5月31日	野間	広島東洋	阪神	2x-1	右越安①	11回	1-1	2死1・2塁	①
10	6月1日	坂本勇	巨人	中日	6x-5	右越安①	9回	5-5	2死2塁	①
11	6月9日	原口	阪神	北海道日本ハム	4x-3	中前安①	9回	3-3	2死2・3塁	①
12	6月19日	大和	横浜DeNA	北海道日本ハム	7x-6	左中2①	9回	6-6	1死2塁	①
13	6月20日	會澤	広島東洋	千葉ロッテ	7x-6	左前安①	9回	6-6	2死満塁	②
14	6月21日	大和	横浜DeNA	東北楽天	3x-2	右越2①	9回	2-2	2死2塁	②
15	6月29日	宮崎	横浜DeNA	広島東洋	2x-1	中前安①	10回	1-1	2死満塁	①
16	6月30日	-	中日	阪神	1x-0	暴投	11回	0-0	2死1・3塁	-
17	7月3日	-	巨人	中日	7x-6	三犠失	9回	6-6	無死2塁	-
18	7月16日	アルモンテ	中日	阪神	3x-2	四球①	9回	2-2	1死満塁	①
19	7月20日	近本	阪神	東京ヤクルト	4x-3	左犠飛①	9回	3-3	1死3塁	①
20	7月21日	鈴木	広島東洋	巨人	2x-1	右前安①	10回	1-1	1死満塁	②
21	7月23日	重信	巨人	東京ヤクルト	6x-5	左越2①	9回	5-5	無死1・2塁	①
22	7月31日	宮崎	横浜DeNA	東京ヤクルト	4x-3	左前安①	9回	3-3	1死満塁	②
23	8月9日	亀井	巨人	東京ヤクルト	10x-9	左犠飛①	10回	9-9	1死満塁	①
24	8月10日	乙坂	横浜DeNA	中日	5x-4	右犠飛①	9回	4-4	1死満塁	①
25	8月13日	磯村	広島東洋	巨人	2x-1	左犠飛①	11回	1-1	1死満塁	①
26	8月20日	三好	広島東洋	東京ヤクルト	9x-8	中前安①	9回	8-8	2死2塁	①
27	8月28日	山本	横浜DeNA	東京ヤクルト	7x-6	右前安①	12回	6-6	2死満塁	①
28	9月12日	堂林	広島東洋	中日	3x-2	左越安①	9回	2-2	1死1・2塁	①
29	9月23日	會澤	広島東洋	中日	4x-3	中前安①	10回	3-3	1死満塁	③
30	9月28日	太田	東京ヤクルト	巨人	2x-1	右線安①	10回	1-1	2死2塁	①

## 【2019 パシフィック・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全35試合】

### ☆パ・リーグ 本塁打によるサヨナラ 7試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数
1	3月29日	中田	北海道日本ハム	オリックス	7x-3	左中本④	10回	3-3	1死満塁	①
2	4月25日	明石	福岡ソフトバンク	オリックス	3x-0	右越本③	10回	0-0	無死2・3塁	①
3	7月19日	中村	埼玉西武	オリックス	5x-4	左越本①	11回	4-4	1死無走者	②
4	8月6日	清田	千葉ロッテ	福岡ソフトバンク	4x-2	左越本②	11回	2-2	1死1塁	②
5	8月27日	ブラッシュ	東北楽天	千葉ロッテ	5x-2	左中本③	10回	2-2	1死1・2塁	①
6	9月4日	田村	千葉ロッテ	北海道日本ハム	4x-2	左越本②	9回	2-2	2死1塁	①
7	9月20日	メヒア	埼玉西武	東北楽天	5x-3	左越本②	9回	3-3	1死1塁	②

## 【2019 パシフィック・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全35試合】

### ☆パ・リーグ 本塁打以外のサヨナラ 28試合

	月日	サヨナラ打者	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前 スコア	走者	個人回数
1	3月29日	デスパイネ	福岡ソフトバンク	埼玉西武	5x-4	左越安①	11回	4-4	無死1・2塁	①
2	4月9日	鈴木	千葉ロッテ	オリックス	5x-4	右前安①	10回	4-4	1死満塁	①
3	4月12日	-	埼玉西武	オリックス	1x-0	失策	9回	0-0	1死1・2塁	-
4	4月16日	ウィーラー	東北楽天	埼玉西武	5x-4	中犠飛①	10回	4-4	無死満塁	①
5	4月25日	杉谷	北海道日本ハム	東北楽天	6x-5	左越安①	12回	5-5	2死満塁	①
6	5月2日	伏見	オリックス	千葉ロッテ	2x-1	左前安①	10回	1-1	2死2塁	①
7	5月3日	デスパイネ	福岡ソフトバンク	東北楽天	12x-11	中前安①	12回	11-11	1死満塁	②
8	5月4日	金子侑	埼玉西武	東北楽天	7x-6	中前安①	11回	6-6	2死2塁	①
9	5月8日	辰己	東北楽天	福岡ソフトバンク	8x-7	中越2②	9回	6-7	1死満塁	①
10	5月9日	銀次	東北楽天	福岡ソフトバンク	4x-3	右前安①	9回	3-3	無死1・2塁	①
11	5月15日	ウィーラー	東北楽天	北海道日本ハム	9x-8	右犠飛①	11回	8-8	1死1・3塁	②
12	5月22日	小田	オリックス	千葉ロッテ	5x-4	左前安①	9回	4-4	2死満塁	①
13	6月1日	鈴木	千葉ロッテ	埼玉西武	8x-7	左前安①	10回	7-7	2死1・2塁	②
14	6月4日	大田	北海道日本ハム	東京ヤクルト	7x-6	中犠飛①	10回	6-6	1死2・3塁	①
15	6月4日	中村	埼玉西武	広島東洋	5x-4	左前安①	12回	4-4	無死満塁	①
16	6月13日	ロメロ	オリックス	中日	6x-5	左前安①	9回	5-5	2死2・3塁	①
17	6月15日	ロメロ	オリックス	阪神	3x-2	左犠飛①	9回	2-2	1死2・3塁	②
18	6月16日	鈴木	千葉ロッテ	中日	8x-7	右前安②	9回	6-7	2死満塁	③
19	7月2日	大城	オリックス	千葉ロッテ	6x-5	遊安①	10回	5-5	1死満塁	①
20	7月8日	栗原	福岡ソフトバンク	埼玉西武	8x-7	中犠飛①	12回	7-7	1死満塁	①
21	7月28日	-	埼玉西武	北海道日本ハム	8x-7	遊ゴ失	10回	7-7	1死1塁	-
22	7月28日	清田	千葉ロッテ	東北楽天	4x-3	右越安①	9回	3-3	無死満塁	①
23	8月1日	マーティン	千葉ロッテ	オリックス	7x-6	四球①	12回	6-6	1死満塁	①
24	8月12日	渡邊佳	東北楽天	オリックス	3x-2	右線2①	10回	2-2	2死1塁	①
25	8月15日	銀次	東北楽天	福岡ソフトバンク	4x-3	右前安①	11回	3-3	1死満塁	②
26	8月24日	中村	埼玉西武	東北楽天	6x-5	左線2①	10回	5-5	2死1・2塁	③
27	9月14日	メヒア	埼玉西武	千葉ロッテ	4x-3	中2①	10回	3-3	1死1塁	①
28	9月15日	-	埼玉西武	千葉ロッテ	6x-5	左飛失	11回	5-5	2死無走者	-

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 歴代受賞選手】

年度	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009	亀井 義行(読売ジャイアンツ)	井口 資仁(千葉ロッテマリーンズ)
2010	天谷 宗一郎(広島東洋カープ)	小久保 裕紀(福岡ソフトバンクホークス)
2011	長野 久義(読売ジャイアンツ)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2012	和田 一浩(中日ドラゴンズ)	中田 翔(北海道日本ハムファイターズ)
2013	長野 久義(読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗(埼玉西武ライオンズ)
2014	福留 孝介(阪神タイガース)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2015	雄平(東京ヤクルトスワローズ)	柳田 悠岐(福岡ソフトバンクホークス)
2016	鈴木 誠也(広島東洋カープ)	吉村 裕基(福岡ソフトバンクホークス)
2017	宮崎 敏郎(横浜DeNAベイスターズ)	栗山 巧(埼玉西武ライオンズ)
2018	下水流 昂(広島東洋カープ)	森 友哉(埼玉西武ライオンズ)

## 【月間「スカパー！ サヨナラ賞」 歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！ サヨナラ賞」を表彰しております。

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	中村紀洋(横浜DeNA)	田中賢介(北海道日本ハム)
5月	森野将彦(中日)	パルディリス(オリックス)
6月	和田一浩(中日)	ホフパワー(北海道日本ハム)
7月	石原慶幸(広島東洋)	柘田慎太郎(東北楽天)
8月	阿部慎之助(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	新井良太(阪神)	松井稼頭央(東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	平田良介(中日)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	福留孝介(阪神)	中川大志(東北楽天)
6月	井端弘和(巨人)	吉田裕太(千葉ロッテ)
7月	藤井淳志(中日)	中村剛也(埼玉西武)
8月	坂本勇人(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	中村悠平(東京ヤクルト)	レアード(北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	福留孝介(阪神)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	畠山和洋(東京ヤクルト)	浅村栄斗(埼玉西武)
6月	マートン(阪神)	高橋信二(オリックス)
7月	丸佳浩(広島東洋)	嶋基宏(東北楽天)
8月	長野久義(巨人)	浅村栄斗(埼玉西武)
9月	石原慶幸(広島東洋)	片岡治大(埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	杉山翔大(中日)	吉村裕基(福岡ソフトバンク)
5月	坂本勇人(巨人)	井口資仁(千葉ロッテ)
6月	鈴木誠也(広島東洋)	レアード(北海道日本ハム)
7月	筒香嘉智(横浜DeNA)	レアード(北海道日本ハム)
8月	脇谷亮太(巨人)	森友哉(埼玉西武)
9月	ギャレット(巨人)	細谷圭(千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	エルドレッド(広島東洋)	ジョーンズ(東北楽天)
5月	梵英心(広島東洋)	加藤翔平(千葉ロッテ)
6月	嶺井博希(横浜DeNA)	今宮健太(福岡ソフトバンク)
7月	福留孝介(阪神)	斉藤彰吾(埼玉西武)
8月	ロペス(巨人)	田村龍弘(千葉ロッテ)
9月	ブランコ(横浜DeNA)	松井稼頭央(東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	鶴久森淳志(東京ヤクルト)	聖澤 諒(東北楽天)
5月	荒木貴裕(東京ヤクルト)	駿太(オリックス)
6月	亀井善行(巨人)	福田秀平(福岡ソフトバンク)
7月	大松尚逸(東京ヤクルト)	J. アマダー(東北楽天)
8月	宮崎敏郎(横浜DeNA)	栗山 巧(埼玉西武)
9、10月	安部友裕(広島東洋)	A.デスパイネ(福岡ソフトバンク)

## 【月間「スカパー！ サヨナラ賞」 歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！ サヨナラ賞」を表彰しております。

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	下水流昂(広島東洋)	森友哉(埼玉西武)
5月	山下幸輝(横浜DeNA)	清田育宏(千葉ロッテ)
6月	山田哲人(東京ヤクルト)	上林誠知(福岡ソフトバンク)
7月	下水流昂(広島東洋)	山下斐紹(東北楽天)
8月	鈴木誠也(広島東洋)	Y. グラシアル(福岡ソフトバンク)
9、10月	上田剛史(東京ヤクルト)	中島宏之(オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	青木宣親(東京ヤクルト)	中田翔(北海道日本ハム)
5月	高山俊(阪神)	辰己涼介(東北楽天)
6月	原口文仁(阪神)	鈴木大地(千葉ロッテ)
7月	Y. ソラーテ(阪神)	中村剛也(埼玉西武)
8月	石川慎吾(巨人)	清田育宏(千葉ロッテ)
9月	N. ソト(横浜DeNA)	E. メヒア(埼玉西武)